

駅の無人化、ローカル線切り捨て！ 沿線住民から怒りの投稿！

過日、JR東海労本部に、飯田線住民から駅の無人化に対する怒りの声がメールで届きました。リニア開業に向けて、ローカル線がどんどん切り捨てられることに対し、利用者離れへの危機感と、営利優先の施策に怒りがこもっています。書かれている内容は、JR東海労の考えと同感です。

会社は、このような意見を真摯に受け止めるべきではないでしょうか。

飯田線無人化のご相談（本部に届いた沿線住民からのメール）

初めまして、私は飯田線沿線に住む●●と申します。

11月初めに新聞報道で飯田線天竜峡以北の業務委託駅全てを無人化にすることを知りました。

私はこのことはいつか来ることと感じていました。2年ほど前から御殿場線、身延線、飯田線南部の業務委託駅を次々と無人化してきました。恐らくリニア開業に向けてJRが乾いた雑巾を絞るような合理化を進めているものと思います。

長野県では県内に駅ができる条件で賛成しましたが、土地買収やトンネル工事など課題は山積みです。飯田線の存続も条件の一つと沿線自治体は説明しています。

しかし、路線は存続しますが、ここまで合理化する必要があるでしょうか。駒ヶ根駅も今回の無人化対象です。恐らく簡易委託になると、あずさの指定席、東京都区内の乗車券、あずさ回数券の購入が困難になると思われます。今年3月末の平岡駅無人化では簡易委託のコストが村の負担になり、断念した経緯があります。乗車券発行機のレンタル料がかなり高額になることを新聞報道で知りました。相応しくない表現かもしれませんが、JRは上から目線のように感じます。

この件の意見は本来なら会社に向けるべきところですが、個人レベルではプレスリリースの回答しかされないものと思って、JR東海労働組合様に相談をお願いした訳でございます。

*ご本人の承諾を得て掲載しています。

リニアよりも在来線の利便性を考えよ！